

2022年2月10日

日本銀行松山支店

愛媛県金融経済概況

1. 概観

愛媛県の景気は、緩やかに持ち直しているが、新型コロナウイルス感染症再拡大の影響から、一部に弱い動きがみられる。

すなわち、個人消費は、緩やかに持ち直しているが、一部に弱い動きがみられる。住宅投資は、持ち直しの動きがみられる。設備投資は、増勢が鈍化している。公共投資は、高水準ながら、弱めの動きがみられる。こうした中、生産は、振れを伴いつつも、基調としては持ち直している。雇用・所得環境をみると、弱めの動きが続いているが、一部に持ち直しの動きがみられる。

2. 各論

(1) 需要項目別動向

公共投資は、高水準ながら、弱めの動きがみられる。

輸出は、持ち直している。

設備投資は、増勢が鈍化している。

個人消費は、緩やかに持ち直しているが、一部に弱い動きがみられる。

業態・品目別の需要動向

大型小売店販売 (百貨店、スーパー、ホームセンター等)	一部に弱めの動きがみられるものの、緩やかに持ち直している。
コンビニエンスストア販売	弱めの動きがみられる。
家電販売	底堅く推移している。
乗用車販売	持ち直しの動きがみられる。
宿泊・観光施設の入込み	減少している。

住宅投資は、持ち直しの動きがみられる。

(2) 生産

生産は、振れを伴いつつも、基調としては持ち直している。

業種別の生産動向

織	維	持ち直している。
紙	・ パ ル プ	横ばい圏内の動きとなっている。
化	学	弱めの動きがみられる。
プラスチック製品		持ち直しの動きが弱まっている。
非	鉄 金 属	持ち直している。
食	料 品	持ち直している。
一	般 機 械	持ち直しの動きがみられる。
電	気 機 械	堅調に推移している。
輸送機械（造船）		低調に推移している。

(3) 雇用・所得

雇用・所得環境をみると、弱めの動きが続いているが、一部に持ち直しの動きがみられる。

有効求人倍率は、前月比上昇した。名目賃金、常用労働者数は前年を下回った。

(4) 物価

松山市の消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を下回っている。

(5) 企業倒産

企業倒産は、落ち着いた動きとなっている。

(6) 金融情勢

実質預金、貸出金とも前年を上回っている。

以 上